



見みえました。五郎兵衛ごろうべえが、その娘むすめをジーンツとみつめていると、娘むすめも五郎兵衛ごろうべえに気きがあるのか、ジーンツとこちらを見みつめてきました。やがて、意気投合いきとうごうした二人ふたりは、踊おどりもたけなわのころ、人目ひとめをさけ、薄暗うすくらがりをもとめて、やぶの中なかへそおつと入はいっていきました。そして、いろいろなことを一晚中ひとばんじゅうかたりあかしたそうです。

明方あけがたちか近くになり、さすがの五郎兵衛ごろうべえもつかれて、ウツラウツラとついねいってしまいました。そして、朝日あさひがさしこみ、五郎兵衛べえが目めをさまし、あわてておきあがるとそこは十六じゅうろくささげとごまの畑はたけで、あの娘むすめはどこにも見みあたりませんでした。あせった五郎兵衛ごろうべえは、十六じゅうろくささげのつるに足あしをひっかけ、ころんだひょうしに、目めをごまのからでいやというほどついてしまいました。五郎兵衛ごろうべえは、ほうほうのていで家いえに帰かえり、